

平成25年12月5日（木） 活動報告

天気：晴れ 朝の気温：4℃ 報告者：佐藤晋也

<活動内容>

8：00～ サポートセンター準備・掃除

9：00～ たこ焼きパーティー開催の打ち合わせ

デイサービス移転で使わなくなったサポートセンターを仮設住宅の住民の憩いの場にするため、大阪ならではのたこ焼きでイベントを行って住民にサポートセンターに来てもらうことを、先日佐藤と桑田からスタッフに提案した。

スタッフの方も是非行いたいとのことで、企画書はスタッフが作成し、準備と開催を共同で行うことに決定した。たこ焼きの材料は愛恵会で準備できるが、焼く鉄板がないとのことで、みささぎ会が釜石市内にあるケーズデンキでたこ焼き器を買って、愛恵会に提供することとなった。

サポートセンタースタッフの方もたこ焼きパーティーをととても楽しみにしておられ、昨日のうちに12月11日（水）開催に決定。昨日桑田さんがチラシを作成しており、本日から仮設住宅住民にポスティングする。

すでに決定されているイベント予定

鶴住居地区サポートセンター 12月の予定（便り）

- 香道教室 12月13日(金) 13:30～15:00 講師の都合で今月は金曜日！回です。
- いわて音楽療法士の会 12月8日 13:00～15:00
- ストレッチ教室 12月12日(木) 26日(木) 13:30～15:00
- 神功法教室 12月8日(日) 22日(日) 10:30～11:30
- ママハウス主催 キッズダンス 12月14日(土) 11:00～12:00
- 整体マッサージベストバランスの治療ボランティア
 12月14日(土) 13:30～ 17:00
 12月15日(日) 9:00 ～ 12:00
 釜石出身の中村院長と名人名誉院長のふ二人が体をほくします。
- 隔日まり「ほりまっちゃん」治療室の治療ボランティア
 12月22日 12:30～18:00
 マッサージだけでも受けられます。頭痛・首の痛み・腰痛・肩こり・不眠の方ご利用ください。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|----|----------------------------------|----|------------------------------|---------------------------|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 13:30～16:00 エコクラフト教室 |
| 8 10:30～11:30 練功法教室 13:00～15:00 音楽療法士の会 | 9 | 10 10:00～ おさんぽの会 | 11 | 12 13:30～15:00 ストレッチ教室 | 13 13:30～15:00 書道教室 | 14 11:00～12:00 キッズダンス 13:30～17:00 整体ボランティア ベストバランス |
| 15 9:00～12:00 整体ボランティア ベストバランス | 16 | 17 10:00～ おさんぽの会 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 10:30～11:30 練功法教室 13:30～18:00 隔日まりボランティア おさんぽの会 | 23 | 24 10:00～ おさんぽの会 (体力測定) | 25 | 26 13:30～15:00 ストレッチ教室 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 大晦日 | | | | |

※ 今月のヨガ教室は 講師の都合によりお休みです。 ごめんなさい

社会福祉法人愛恵会 鶴住居地区サポートセンター 29-1680

作成したポスティング用チラシ



10:00～ D仮設住民訪問

サポートセンター山崎さんと訪問した。山崎さんはたこ焼きパーティーのチラシのポスティングし、佐藤は単独で毎日血圧測定を希望する住民8件を訪問した。

大阪堺市からサポートセンターに応援に来たことを告げると、住民の方は大阪の人にとってもお世話になったと好意的だった。震災直後から大阪府、兵庫県の警察が交通整理に来たり、救急搬送の応援に大阪府の救急車が釜石市に来ていたとのこと。またボランティアにも大阪の人が来ていたようで、多数の住民が大阪を喜んで下さった。たこ焼きパーティーにもお誘いすると、すでに山崎さんがポスティングしたチラシが届いており、「これでしょ？」とチラシを見せて下さった。「たこ焼きを焼くことが楽しいです。一緒に焼きましょう。」と誘うと、本場大阪のたこ焼きが体験できると、とても楽しみにしておられた。

★毎日訪問や血圧測定の対象者について

全件の安否確認や見守り、実態把握をするための口実で血圧測定を始めたとのこと。「体調いかがですか？」だけでは、コミュニケーションに繋がらないため、血圧測定が有効だったという。毎日の血圧の記録用紙をがサポートセンターが用意し、各住宅に用紙を置いて測定結果を書くことで、主治医に相談を促しやすくなり、適切な治療に繋がっている。血圧測定は住民の希望

で行っており、訪問での血圧測定を希望する住民、サポートセンターに来てスタッフとの会話を楽しみながら血圧測定を希望する住民、頻度も毎日や週1回と希望は様々である。

毎日の訪問やコミュニケーションを希望し、血圧測定を行っている住民にはニーズは少ない。むしろ訪問や関わりを拒否する住民にニーズが多く、安否確認や体調の確認に苦勞する。窓から覗いて倒れていないことを確認したり、他の機関を連携して情報収集している。

感想：住民との関わりを持つために血圧測定することはとても名案だと感じた。その住民との滞在時間が少しでも増え、会話することができる。自宅の中に入れてもらえる可能性も増える。悩みや困りごとを打ち明けてくれたり、自宅内の様子を見て状態把握のきっかけを掴むことにも有効である。

14:00～ A仮設訪問

サポートセンタースタッフ畑屋さんとA仮設住民を訪問した。血圧測定を希望する住民3名を訪問。どの方も血圧に異常はなく、大阪から応援に来たことを喜んで下さった。A仮設全戸にたこ焼きパーティーチラシをポスティングした。



15:00～ サポートセンターにて来訪者とのコミュニケーション

12月1日に釜石市に来てから、2回3回とサポートセンターに来て下さる住民と会話をした。佐藤や桑田の顔を覚えて下さっている。

サポートセンターを、気軽に足を運んで冗談を言い合い、会話できる憩いの場にできるよう、来訪者をもてなしたい。

16:00～ たこ焼きパーティー開催に向けての準備

サポートセンタースタッフ3名に、たこ焼きを実際に作りながら、生地の作り方、焼き方を学んでいただいた。スタッフの方もたこ焼きは買って食べるもので作ることはないようで、焼くことがとても楽しいと感じてもらった。スタッフの反応から、住民の方に楽しんでいただけるたこ焼きパーティーが開催できそうである。



以上